



8名の外国教師の方に囲まれて

授業を受け、英語を聞くこと、話すことを楽しく学びました。授業はクイズ形式で行われ、ニコールさんを除く7人のALTTが、順番に自己紹介を行った後、ニコールさんが内容について児童に質問しました。それが終わ

# 見とこ・知とこ

好日  
日々  
みんなの南部

## 堂々と会話

〈英語の授業〉

3月1日(火)に西伯小学校で近隣のALTT(英語指導助手)等7名が集まり授業を行う、ユニークな英語学習が行われました。

西伯小学校では、日ごろから3年生以上を対象に週3時間の総合的な学習を行っており、そのうちの1時間を英語に親しむ時間として、ALTTから直接、英語の指導を受けています。今回はその西伯小学校のALTTのニコールさんが、企画を実現しました。

当日は、5・6年生(130名)が



しっかり自己アピール

ると、今度は、児童のほうが自己紹介をしました。アメリカ、イギリス、フランス人を目の前に一対一で話しをし、自分をアピールします。日ごろニコールさんと触れ合っていることもあり、今回の交流もスムーズに行われました。

西伯小学校は郡内の小学校でも数少ないALTTが配置されている小学校であり、日常的に英語を聞くこと、話すことを経験できるとも恵まれている学校です。英語に早くから触れ、学ぶことの楽しさをわかればよい英語が好きになります。森山和也君(6年生)は、「たくさん外国の先生と話をした楽しかった」と語ってくれました。

## 企業進出第1号

〈株式会社ミヨシと調印〉

円山の旧栗村製作所工場にこのたび、徳島県に本社をおく株式会社ミヨシが進出し、法勝寺庁舎で調印式が行われました。

(株)ミヨシは、鑄造業を中心とする企業組合ミヨシキャスティング徳島県三加茂町、資本金4,800万円)の子会社として設立され、銑鉄鑄物製造を中心に各種機械部品加工業を手がける予定です。

調印式では、坂本町長が「南部町企業進出第1号として期待しています。」と歓迎のあいさつを行い、それに対し、(株)ミヨシの国安一光会長が「今までの経験を生かし、南部町で成長するよう努力します。」とあいさつされました。

同社は4月から旧栗村製作所の施設・設備をそのまま使用して操業を開始し、初年度年商3億円を目標としています。



協定調印の様子



操業を始めた(株)ミヨシ

## 元プロ野球選手から指導

〜基本が大事〜



熱心に指導を受ける子供たち

3月6日(日)にカントリーパーク野球場で、元プロ野球選手の河野博文投手と広瀬哲朗内野手を招き、「スポーツ交流プロ野球教室」が行われ、西伯スポーツ少年団の野球部が参加しました。

あこがれのプロ野球選手に直接指導を受けるとあって、子どもたちは緊張していました。プロの技術を吸収しようと積極的に指導を受けました。

二人は、基本に忠実にプレーすることが大切と熱心に指導をしていました。参加した子どもたちは、基本の大切さを痛感するとともに、少しでも技術が向上するよう真剣に指導を受けていました。

## インターンシップを利用

〜自立を目指して〜

3月7日から18日まで、鳥取環境大学の4年生持田敦子さん(東町)がインターンシップ制度を利用して、役場や図書館で就業体験を行いました。

持田さんは、障害がありますが、情報システム科でコンピューター理論、プログラミングを専攻されており、今回の体験中、パソコン技術を遺憾なく発揮されました。体験を終えた持田さんは「自分の可能性を試したい」と将来に向け感想を述べられました。

町では障害者福祉計画がスタートすることに備え、今後の障害者福祉の充実を目指すためにもインターンシップ制度を積極的に受け入れています。

インターンシップとは学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度です。



パソコンを利用して仕事に励む持田さん

## 子どもたちのために

〜味噌作り〜



愛情を持って作業する調理師さん

3月30日(水)にめぐみの里で、西伯給食センターの栄養士、調理師の6人が味噌づくりをおこないました。

給食センターでは、15年くらい前から学校給食に使用するため、自分たちで味噌をつくってききました。今年は、町内産の大豆「さちゆたか」と大木屋産の米「こしひかり」を使い約250キログラムの味噌をつくりました。これは、西伯地区の学校で使用する7カ月分に相当します。

厳選された素材を混ぜ合わせ、たる詰めにし、6カ月発酵させればおいしい味噌の出来上がりです。

来年は、会見地区でも加工施設「えぶろん」を利用しての作業も検討しています。

## 西伯南ライオンズクラブ

〜10周年記念式典〜

西伯南ライオンズクラブが今年で創立10周年を迎え、3月6日(日)にブラザ西伯で記念式典が行われました。同クラブは会員21名で、南部町、伯耆町などを活動拠点に地域に根ざした活動を展開されています。

式典には関係者約80名が出席し、これまでの活動内容を振り返るとともに、会員拡大を最重要課題にさらなる発展を誓いました。

また、10周年記念事業として、町に壁掛け時計2基、法勝寺中学校に楽器購入費等を寄贈していただきました。



盛大に開催された式典